

東温市教育委員会 令和5年9月定例会会議録

開会の日時及び場所 令和5年9月26日(火) 午前 9時 00分
東温市庁舎 4階 大会議室

議事に出席した委員	教育委員	本田 隆彦
	教育委員	水岡 明美
	教育委員	大西 正志
	教育委員	大野 誠司

議事に出席した職員	教育長	八木 良
	事務局長	森 賢治
	学校教育課長	松本 則一
	保育幼稚園課長	近藤 和明
	生涯学習課長	渡部 昌弘
	給食センター長	近藤 照雄
	学校教育課長補佐	好永 慶一郎
	学校教育指導主事	橋本 清

傍聴人 なし

1 開会宣言 (9:00)

好永補佐 (開会を宣す。)

2 教育長あいさつ (9:00)

八木教育長 みなさん、おはようございます。本日の定例教育委員会よろしくお願
いいたします。

暑さ寒さも彼岸までといいますが、先週までの厳しい残暑からやっと
秋らしい季節がやってまいりました。そうはいつでも、例年より秋の訪
れはゆっくりとしているように感じます。これから彼岸花が満開になり、
コスモスやススキなどが目につくようになってくるだろうと思います。
少しずつですけれども、秋が深まっていくのではないかと考えています。

ニュースではコロナとインフルエンザなど感染症の同時流行が報道
されています。本市でも、感染症が広がっておりまして、川上小学校が
インフルエンザの流行により6年生の1学級が本日より学級閉鎖の措置

をとっています。引き続き感染症予防を継続していきたいと思っております。

さて、2学期が始まりまして1か月が過ぎようとしています。川上小学校、川内中学校、重信中学校の体育祭も盛会のうちに無事に終わることができました。私も中学校の体育祭を見させていただきました。中学生のきびきびとした行動と全力で取り組んでいる姿に元気をもらいました。川上小学校でも、一部インフルエンザの流行により開催が心配されたそうですがなんとか無事に実施して、子ども達にとっても心に残るいい運動会になったと聞いております。これも、運動会に向けてこの残暑の厳しい中練習や準備をしてきた学校において、感染症予防と共に熱中症の対策も十分にさせていただいたおかげだと思っております。どの学校も、心に残る運動会になったと思っております。

一方で、9月14、15日と南吉井小学校の修学旅行も無事に行われました。ホームページなどを見ると子ども達も満足そうな顔をして、充実したいい行事になったのではないかと思います。2学期は、文化・芸術やスポーツ、研究大会など多数の行事があります。来月は特に小中学校で修学旅行が予定されておりますので、引き続き感染対策については油断なく臨むようにしたいと思います。

さて、9月議会ですが、一般質問で3人の議員さんから次のような質問がありました。

「文化芸術の振興によるまちづくりについて」

「コロナ禍と子どもの成長について」

「子ども子育て支援について」

「学校給食の無償化について」

であります。これらの質問に対する教育委員会の回答は、各課報告の後担当課長から報告させていただきます。

ところで、水岡委員さんが11月25日をもってご退任されます。長きにわたり教育委員を務めてくださりありがとうございました。来月の教育委員会が最後となりますので、ご挨拶は次回の教育委員会でさせていただこうと思っています。よろしく願いいたします。それでは、本日の教育委員会、よろしく願いいたします。

以上で簡単ではありますが、開会のあいさつといたします。本日もよろしく願いいたします。

3 前回会議録の承認

八木教育長 前回会議録の承認ですが、承認いただけますでしょうか。
委員全員 (意義ない旨伝える)

4 各課報告

松本課長 (当日資料1、2ページに基づき、学校教育課に関する行事報告及び行事計画の説明を行う。)

近藤課長 (当日資料2、3、4ページに基づき、保育幼稚園課に関する行事報告及び行事計画の説明を行う。)

渡部課長 (当日資料4、5、6、7ページに基づき、生涯学習課に関する行事報告及び行事計画の説明を行う。)

近藤所長 (当日資料7ページに基づき、学校給食センターに関する行事報告及び行事計画の説明を行う。)

八木教育長 それでは各課からの報告について、ご意見やご質問はございませんか。
水岡委員 重信中学校の運動会の感想になります。どの種目も生徒が全力で取り組んでいる姿に感動しましたし、体育祭の流れも生徒たちが無駄な動きがなく本当にスムーズな流れでしており、こちらもすごく熱くなりました。コロナ明けということもあって大きな声で仲間を応援する姿もいいな、行ってよかったという感じを受けました。

大西委員 川内中学校と川上小学校の運動会の感想を述べさせていただきます。どの競技を見てもよく練習していると感じました。特によかったのは団体競技です。川内中学校の全校生徒のサマーフェアリーという演目競技と川上小学校5、6年生の川上ソーラン 2023 というのは本当に素晴らしい競技だと思います。よく練習していると思います。運動会の練習は大変だと思いますが練習を通じて学んだことは、おそらく社会に出た時に人との協力や色々な面で役に立つものだと思います。あわせて、中学校、小学校ともに熱中症対策を含めた校長先生、先生達の気配りが非常に良いものだと思います。

本田委員 私も川内中学校の体育祭に参加させていただいたのですが、校長先生の挨拶で、「今までは言えなかったけども、大きな声を出してください。」と言われておりました。体育祭がコロナ以前のような形で行われるようになって本当によかったと思います。生徒も生き生きと力一杯活動していて、見ていて気持ちの良い運動会になっていたと思います。準備運動でストレッチを行っていたのですが、十全医療学院にご指導いただいて

作り上げたということだそうです。体育祭においても地域との繋がりが広がっているということ、大変素晴らしいことだと思いました。

大野委員 春の運動会はみんなで楽しむ要素が多くとてもいい運動会だったのですが、秋の運動会は個人の育った姿、集団の育った姿を見ることができてよかったです。私は重信中学校の体育祭を見させていただいたのですが、生徒が主体的に係活動を行い、先生たちはその主体的活動がうまくいくように支援して、子どもたちの作り上げる運動会になっていたところが非常に感心しました。

(9月議会の教育委員会に関連した一般質問の答弁について)

松本課長 (渡部勇次議員からの、コロナ禍と子どもの現状について、「コロナ禍による子どもの成長への影響を問う」、「5類変更後の学校生活の変化及び対応を問う」についての答弁を説明する。)

近藤課長 (松末博年議員からの、子ども子育て支援について、「年度途中の3号認定の状況を問う」、「0歳児の預かり希望について問う」、「10年後の幼保施設について問う」についての答弁を説明する。)

渡部課長 (渡部勇次議員からの、文化芸術の振興によるまちづくりについて、「文化芸術の振興を推進する意義を問う」、「拠点施設の充実に向けた取り組みを問う」、「職場体験の実施状況について問う」、「職場体験の今年度の変更内容と変更理由について問う」、「職場体験に対する生徒への配慮について問う」、「職場体験における現状の問題点と課題について問う」、「職場体験の充実のため教育委員会の取組について問う」についての答弁を説明する。)

近藤所長 (森眞一議員からの、学校給食費の無償化について、「実施に必要な市の負担額を問う」、「実施の考えはないかを問う」、「給食費の未払いの子供の人数と金額を問う」、「朝食を食べてこない児童・生徒の人数を問う」、「小中学生の保護者のうち、非正規労働者の人数を問う」についての答弁を説明する。)

5 議案

議案第 46 号 令和 5 年度東温市学校給食等食物アレルギー対策検討委員会委員の委嘱について

松本課長 (資料に基づき、説明する。)

八木教育長 ご意見ご質問ございませんか。承認いただけますでしょうか。

委員全員 (意義ない旨伝える)

議案第 47 号 令和 5 年度東温市部活動地域移行検討協議会委員の委嘱について

松本課長 (資料に基づき、説明する。)

八木教育長 この件について何かご質問ございませんか。

大西委員 スポーツクラブの指導者について、川内さくらクラブと東温スポーツネットワーク、このお 2 人だけで受け入れ側との連絡ができるのでしょうか。剣道関係などは立派な指導者の方も多くいらっしゃいますが。

松本課長 地域移行について、それぞれの地域団体の方々からの意見は吸い上げていただき、代表者としてご意見いただけたらありがたいと考えております。

八木教育長 スポーツ協会とスポーツ少年団も入っておりますので、対応はできると思います。

大西委員 わかりました。

八木教育長 他にございませんでしょうか。そうしましたらご承認いただけますでしょうか。

委員全員 (意義ない旨伝える)

6 その他

(1) 教育委員会共催・後援事業について (令和 5 年 8 月承諾分)

松本課長 (資料に基づき、説明する。)

(2) その他の報告・協議事項について

東谷・西谷幼稚園の次年度の運営について

近藤課長 (資料に基づき、説明する。)

八木教育長 これからの幼児教育に関わることですので、順番に質問、ご意見、感想等を含めてお出しいただければと思います。いろいろな意見が教育委員会にもあるということで、一つの意見に集約するというものではありませんので、いま感じていることなどを一通りいただいたあと、協議をしていただけたらと思います。

大野委員 子どもが減る幼稚園から、3 人を下回るようであれば川上幼稚園に行きましょう、簡単に言うとそのような提案だと思います。これは単に幼稚園のことだけではなく、長期にわたっては小学校でも 3 人を下回ったら川上小学校行きましょうとなっていくこととも繋がっていると思いま

す。もしそうであれば、東谷や上林に住んでいる若い子が、子どもがその小学校に行けなくなるのなら、家を建てるのはもっと下の方の都合のいいところへ建てて、地域から出ようかということになり、最終的には限界集落になっていくのではないのでしょうか。そうなっているところも県内で実際にあるんです。東温市の場合は、今まではどうにかやってきたけれど、去年ぐらいから西谷幼稚園が、入園者もいないので休園ということで、今は第二段階に差しかかっているの、これは地域の保護者だけではなく、地域住民も巻き込んで考えて、これからも引き続き検討していくことが大事かと思います。3人を下回るようでという、これは何の基準で3人になったのか疑問です。

八木教育長 今3人という具体的な数値について、根拠があるようならというお話でしたがいかがでしょうか。

近藤課長 根拠はないのですが、上林保育所が3人で開所していたという事実があり、3人のうち2人が卒園して1人になるということが3年程前に現状としてありました。1人でも開けるのか閉めるのかという話の時に閉所の話もありましたが、なかなか地元の理解も得られず休所という措置をとりました。その時に、3人では開けていたので3人いれば開けましようというような話をさせていただいた時にできた基準です。1つの前例ができてしまったので、それを踏襲しているような形です。

八木教育長 3人というのは、客観的なデータから基づいた数字ではなく、上林保育所の事例に沿った基準にしているということですね。

大野委員 わかりました。

八木教育長 今言われましたように、小学校にも繋がっていくことなので、それぞれの意見をいただいたらと思います。

大西委員 私は小学校3年まで松瀬川小学校という、今は廃校になっている学校に行っていました。確か同級生は12、3名いたと思いますが、その後南吉井小学校に転校になって、4年生から同級生が165人、1クラス55人で松竹梅のクラスだったと思いますが、子どもの視点から考えたら160名になった方が面白かったです。それなりに強い子も弱い子も色々いる中で、子どもとしては多人数で集団の中で色々経験することで、間違いなく社会に出てプラスになったと感じております。そこは保護者の意向のところでも多人数での保育を望んでいる。そして幼児教育も集団の中で育てあう全体感、信頼感、こういったもの、運動会を見ていると団体の中で育っていく方がプラスになるのではないかと思います。小学校もそれは十分考えて、子どもにとっては間違いなく人数が多い方がいい。

地域の方にとっては寂しいと思いますが、時代の中である程度受け入れていただいた方が子どもにとっていいことですよとお伝えしたらいいのではないかと感じます。

水岡委員　私は両方とも良いところがあると思います。東谷幼稚園の中には校区外の子が3人いるということで、東谷幼稚園のよさがあるから校区外から来ているということなので、幼稚園の魅力を発信したら入園児は増えると思います。また、今保育士の方が少なくなっているということなので、園を一つに集約することにより保育士不足も解消するのではないかと思います。どちらとは言えない難しい問題だというのが正直な感想です。

八木教育長　園を一緒にすれば保育士不足も解消されるのではないかとということでしたが、一緒にすると保育士不足は解消されるのでしょうか。

近藤課長　休園をすればそこに配置する職員はいなくて済みますので、本当に足りていない施設の方に回っていただくことはできると思います。

本田委員　子どもの育ちを考えると、保護者の思いとしては、ある程度の人数のところで保育をさせたいという思いは強いだろうと思います。ただ地域の方々と保護者の方の思いは多少違いがあるのかなと思います。将来的な地域の存続まで思うとなかなかそうですかと地域の方が言いにくいところがあると思いますので、その部分については調整やご理解をしていただくような十分な手立てをしていく必要があるのかなと思いますし、併せて、市としても人口対策の観点からみて、山間地域へ定住、移住といった対策も検討していく必要はあるかと思います。検討をしていって、それでも駄目ですということならある程度地域の方も考えていただけないかと思いますが、まずは存続できるための対策ということを考えていかなければならないかと思います。また、重信幼稚園の年長さんが19人だそうです。重信幼稚園でさえ小さくなっている状況ですので、認定こども園への移行も他の幼稚園や保育所でも検討していく必要もあるかと思います。

八木教育長　認定こども園への移行も検討したらどうかということがございましたが、見込み等どうでしょうか。

近藤課長　重信幼稚園については、子ども子育て支援事業計画の中に認定こども園化について検討するというところで謳っており、昨年度検討をさせていただきました。本来であれば認定こども園に移行する予定であったのですが、近隣の保育施設である南吉井保育所の建て替えの時期が迫っているというようなことがあるので、それは重信幼稚園と絡めてどうするのが

いいのかということは今後検討していこうということで、色々な機会でも検討していきたいと思っております。認定こども園化は先延ばしにしたという状況です。

大西委員 次年度の対応、運営方針で下線があります上林保育所の休所について、これは上手に対応としてまとめられていると思いました。上手に地域の方の気持ちも考えてうまくまとめられていると感じます。この方向でされたらいいのではないかと思います。

八木教育長 認定こども園を順次設置していくという方向で進んでいるのですが、建て替えなど色々な諸事情でスケジュール的には若干延びているということです。他にご意見ございませんか。ではこの件につきましては、資料のとおりスケジュールで地元の方や保護者にも説明して参りますので、教育委員会の委員さんのご意見等も踏まえて対応していきたいと思っております。

(3) 令和5年11月定例会の日程について

11月定例教育委員会

日時 令和5年11月28日(火) 9時00分から

場所 大会議室

(4) 令和5年度要保護・準要保護児童生徒の認定について

松本課長 (資料に基づき、説明する。)

(5) 令和5年8月末現在のいじめ・不登校の状況について

松本課長 月3分の1以上欠席者における小学校の不登校人数は1名、病気人数は2名、その他人数は0名、小学校の月3分の1以上の欠席者人数は計3名です。中学校の不登校人数は20名、病気人数は8名、その他人数は2名、中学校の月3分の1以上の欠席者人数は計30名です。小中学校の合計の月3分の1以上の欠席者は33名です。

30日以上の不登校は、小学校で10名、中学校で46名、小中学校の合計が56名となっております。

非行について該当はありません。

いじめについて、認知件数は小学校0件、中学校2件、合計2件です。いじめの解消状況について、4月以降の累計では、解消が小学校7件、中学校8件、継続は小学校0件、中学校0件。継続的見守りが小学校16件、中学校5件で、合計36件です。

— 非 公 開 —

(6) その他の報告事項、連絡事項について

ア 令和5年度東温市小学校陸上運動記録会について

松本課長 (資料に基づき、説明する。)

イ 第5回コミュニティ・スクール推進フォーラム in 愛媛・東温Ⅱについて

八木教育長 (資料に基づき、説明する。)

八木教育長 では以上をもちまして、東温市教育委員会令和5年9月定例会を閉会
いたしたいと思っております。事務局にお返しします。

好永補佐 (閉会を宣す。)

(午前10時50分閉会)